The background of the slide is a light gray gradient with several realistic water droplets of various sizes scattered across it. The droplets have highlights and shadows, giving them a three-dimensional appearance.

令和3年度 探究的な学習の在り方に関する 研究推進地域事業の取組報告

神石高原町立三和中学校区

来見小学校 圓道裕美

今年度の取組の報告の概要

- I 方向性の決定
- II 授業の実際
- III 成果と課題

I 方向性の決定

(1) 研究テーマ・つけたい資質・能力の設定

- ・課題
- ・学校教育計画
- ・総合的な学習の時間・生活科全体計画
- ・総合的な学習の時間・生活科年間計画

連携型中高一貫校

油木高等学校が
育てたい
九つの力

第1回探究的な学習の在り方に関する研究推進地域連絡協議会(県)

4月28日

第1回探究的な学習の在り方に関する研究推進協議会(町) 5月6日

I 方向性の決定

(1) 研究テーマ・つけたい資質・能力の設定

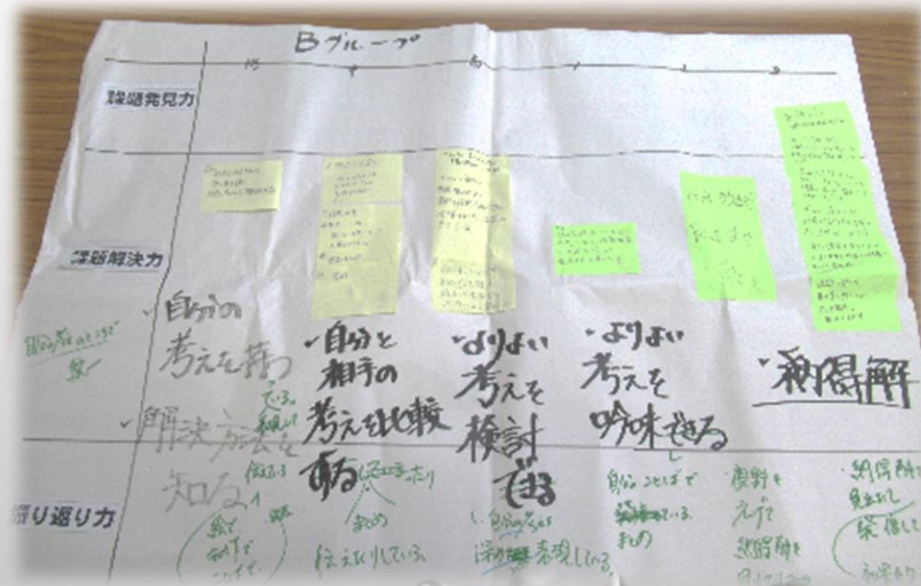
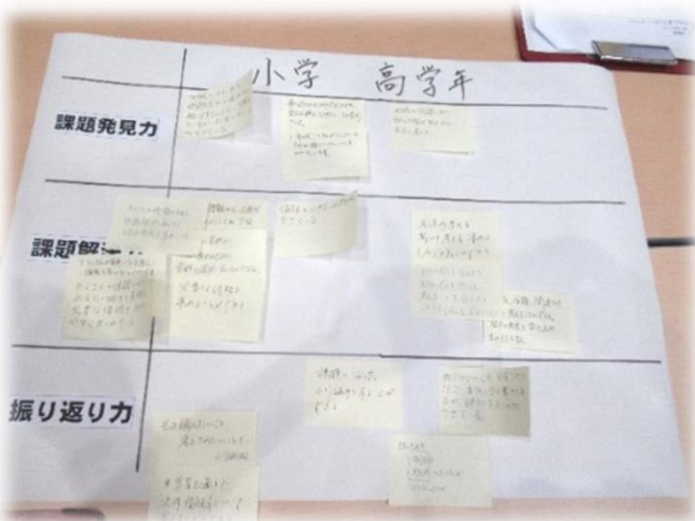
主体性を発揮する児童生徒の育成
— 「地域」を教材とした探究的な活動を通して—

課題発見力

課題解決力

振り返り力

I 方向性の決定 (2)めざす子どもの姿



第1回探究的な学習の在り方に関する研究推進地域連絡協議会(県) 4月28日

第1回探究的な学習の在り方に関する研究推進協議会(町) 5月6日

第1回三和中学校区小中学校連携教育推進委員会総会5月10日

第2回探究的な学習の在り方に関する研究推進地域連絡協議会(県) 7月9日

第2回探究的な学習の在り方に関する研究推進協議会(町) 8月5日

I 方向性の決定

(2)めざす子どもの姿



研究推進リーダー会

I 方向性の決定

(2) めざす子どもの姿

つきたい力, そうなりたい姿の系統表		三和中学校区					令和3年8月20日
(評価の観点) 本学でつきたい 資質・能力	小学校低学年	中学年	高学年	中学校1学年	2学年	3学年	
(思考・判断・表現①) 課題発見力	自分のまわりから不思議を見つけられている。 「なんで？」 「どうして？」	地域の中から、問題を見つけている。 「知りたい！」 「調べたい！」	課題設定し、解決する方法を考えている。 「どんな方法で？」 「自分たちでできること？」	町の課題を自分の事として考え、解決に向け見通しをもっている。	視野を広げ、課題解決に向けて計画を立てている。	さらによくするためには、どうしたらよいか、根拠をもって考えようとしている。	
(思考・判断・表現④) 課題解決力	自分の考えをもって表現している。 絵で 動作で ことばで 発表	自分と相手の考えを比較し、まとめたり伝えたりしている。	よりよい考えを検討し、自分のことばでまとめている。	よりよい考えを吟味し、自分のことばで表現している。	視野を広げて、納得解を見だし、表現している。	納得解を見だし、効果的に発信している。	
(主体的に学習に取り組む態度③) 振り返り力	できたこと、わかったことを振り返っている。 「何がわかった？」 「何ができるように なった？」	学習計画に照らし合わせて、振り返っている。 「今、どこまででき ている？」 「次は、どうする？ 何する？」	学んだことを自己の生き方につなげて振り返っている。 「自分は何ができる か？」 「これからどうした いのか？」	学んだことを実生活に活かそうとしている。	地域における自分の生き方、在り方について考えている。	地域の問題解決に自分のこととして取り組んでいる。	

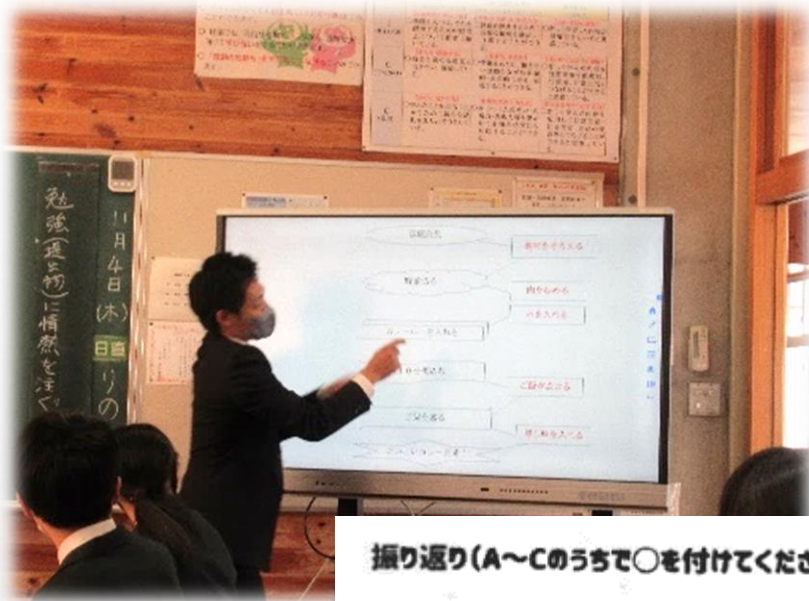
II 授業の実際

- (1) ルーブリック
- (2) カードの活用
- (3) 指導者のファシリテート
- (4) 本物にふれる
- (5) 研修方法
- (6) 児童生徒の変容

II 授業の実際

(1) ルーブリック

三和中学校1年生 授業
「町の魅力を伝えよう」



振り返り(A~Cのうちで○を付けてください)

A	B	C
<p>町の課題を自分事として捉え、解決に向けて自分の意見を言ったり、友達の見解も聞いたりして見通しを持った計画を立てることができている。</p>	<p>町の課題を自分事として捉え、解決に向けた話し合い活動に参加することができている。</p>	<p>町の課題解決に向けた話し合い活動において、友達の見解を聞くことができた。</p>

そのように自己評価した理由、本時の学習を終えて勉強になったこと など

- 友達と「○○したい人いるよ」と書いてくれて、自分もやる気が出てきた。A-を作っていて今日は班での話し合いで自分の意見はわりと伝えられた。↑
- 1日の次はついに発表して深めていけた。

II 授業の実際

(1) ルーブリック

目標 調べたことや確かめたりしたことを整理して分かったことをまとめよう。

整理・分析
まとめ・表現

A 工夫する、社会科等別の教科と関連付ける。
まとめ後、先のことを考えて、より良くなる。

B 整理してまとめることができる。
(プレゼンのもと)

C X

目的

- 親に伝える
- 学習のまとめ

いろいろと

目標 分担した場所について
分かりやすく、詳しく工夫して
プレゼンを作る。

A. 分かりやすく工夫 + 詳しく

B. 分かりやすく工夫



探究的学習のながれ

課題の設定
情報収集
整理・分析
まとめ・表現
振り返り

目標 分担した場所を 分かりやすく
詳しく工夫して プゼンを作る。

整理・分析
まとめ・表現

A 3点クリア

B 分かりやすく



II 授業の実際

(1) ルーブリック

① Bだと思っ。フとしても分かりやすくまく工夫が
 下またし、みんなて協力など、もて手たか
 ら

～ぶり返り～
 Aだと思っ。理由は、もちろん3つのことはできていたし
 特に、詳しくしていたのでとてもいいと思っました。次は
 たぶん完成するので、がんばりたっと思っます。

大事な所を
 画面のキリがよきようをうした。
 をつかって...

II 授業の実際

(1) ルーブリック

A	B	C
三つ小の子をそうぞうしたり、分かりやすいかを考えたりして、よりよいひょうげん方ほうを考えたり、えらぶことができた。	三つ小の子をそうぞうしたり、分かりやすいかを考えたりして、ひょうげん方ほうをえらぶことができた。	三つ小の子をそうぞうしたり、分かりやすいかを考えたりして、表現方法を選ぶことができなかった。

④レベル B ←
グループで話したときに～ ←
と言ったからレベル B。 ←
←
・友だちのいいところ・これからしたいこと ←

II 授業の実際 (2) カードの活用

ほんこう 1・2年
本校のつきたい
ししつ のうりょく
資質・能力

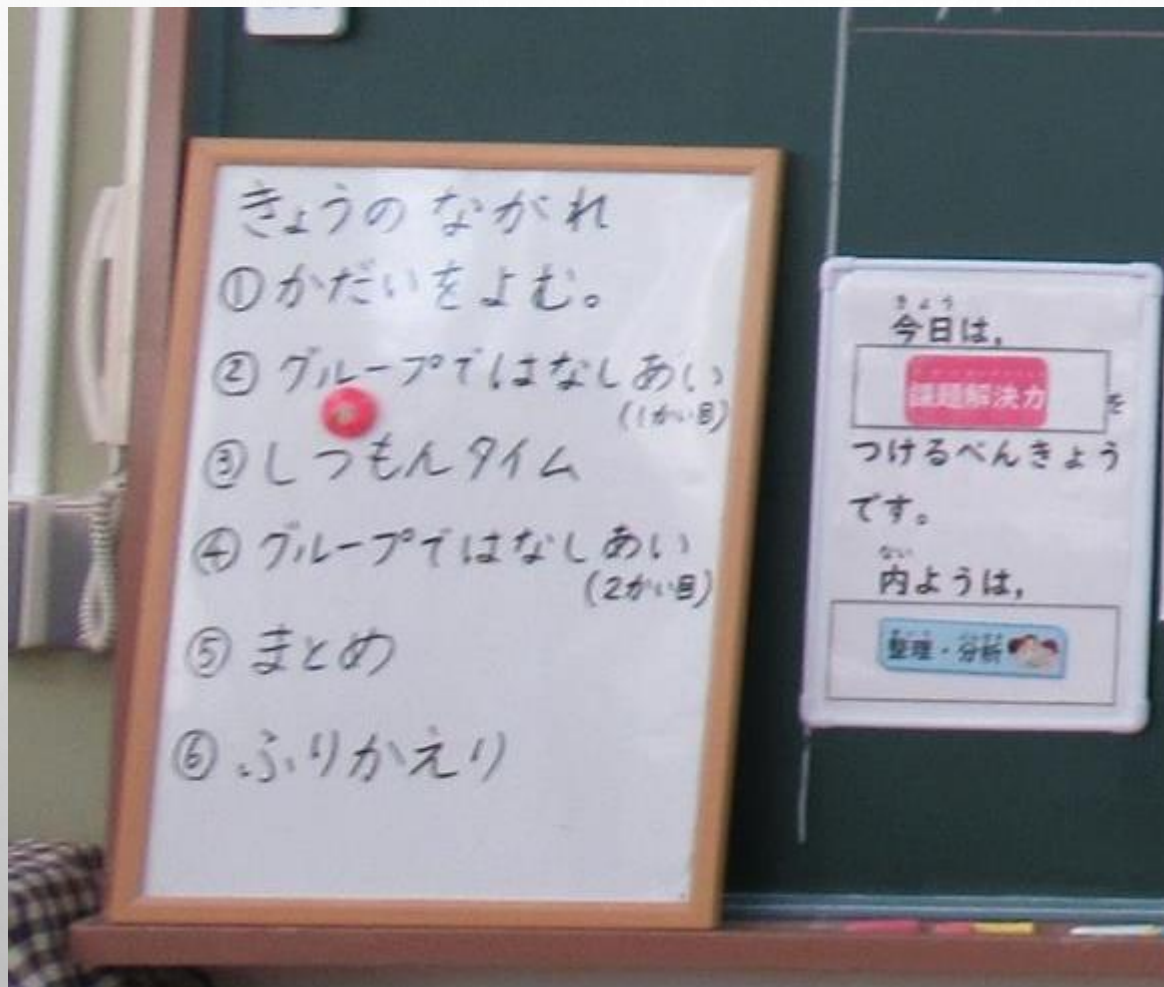
か だ い は っ け ん り ょ く
課題発見力
じぶん 自分^{じぶん}のまわりから、
みしぎょう 不思議^{みしぎょう}を見つけている。
「なんで？」
「どうして？」

か だ い かい け つ り ょ く
課題解決力
じぶん かんが 自分^{じぶん}の考え^{かんが}をもって、
ひょうげん 表現^{ひょうげん}している。
え 絵^えで とうさ 動作^{とうさ}で へいひょう 発表^{へいひょう}で、
ことばで

ふ かい り ょ く
振り返り力
できたこと、
わかったことを、
みかえ 振り返^{みかえ}っている。
「何ができるようになった？」
「何がわかった？」



II 授業の実際 (2) カードの活用



つけたい力

学習の流れ

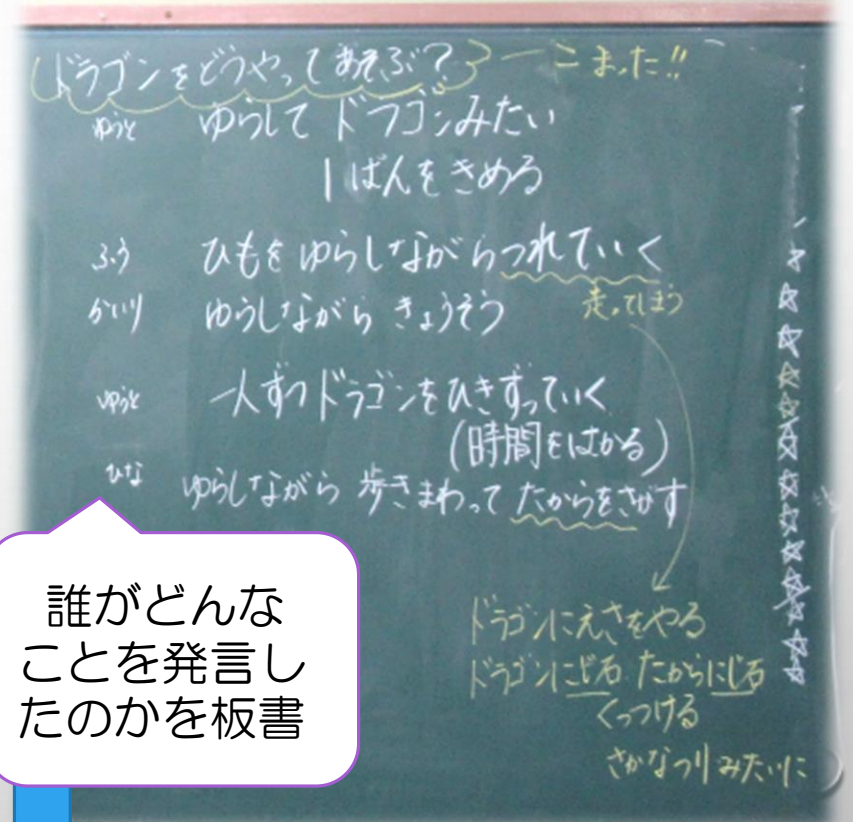
II 授業の実際

(3) 指導者のファシリテート

児童の実態把握と教師の出（で）

生活科 第2学年 『せかいにひとつだけ わたしのおもちゃ』

- ・児童が行き詰まったときに、全体になげかける「教師の出」
- ・全体にアイデアを聞くと、どんどんアイデアがでてきた。
- ・Tくんが気にいったものを選択し、先生に嬉しそうに報告。
- ・そして遊び方の説明を書くことにつながる。



誰がどんな
ことを発言し
たのかを板書

II 授業の実際

(3) 指導者のファシリテート

先生がお膳立てしない！

総合的な学習の時間 第4学年 『とびだせ 来見たんけん隊』

- ・資料やインターネットでそれぞれ調べたあと、やっぱり見学に行って本物を見たり聞いたりしたいと、自分たちで校長先生に依頼。
 - ・最初は、校長先生に断られる。(壁)
 - ・校長先生を説得するために、児童は考える。
- ↓
- ・前のめりになって取り組み、みんなで協力して、自分たちでどうにかしようとする姿が見られ、主体性が見られた。

Y児 ふりかえりシート

今日、他のチームは、プレゼンしに行きました。でも4番を引いた僕たちのグループは、出来ませんでした。なので来週頑張りたいと思います。内心他のチーム結構リベンジと言われていたので怖いです。でもこうしん窯が受かったからコツ？を聞いてみたいです。僕は、はっきり大きな声でゆっくりというように頑張りたいです

次の日プレゼンできましたね。次のリベンジのために校長先生からされた質問を考えられればいいね。

II 授業の実際

(4) 本物にふれる

総合的な学習の時間

第3学年

『神石高原町のこんにやくを広めよう』

その道のプロの
意見を聞く

②その道のプロの方にぼくたち3年生がつくったポスターを見てもらいました。



油木高校魅
力化+プロジェ
クト神ゼミ講師
(コーディネータ
ー)の方から、
Zoomでアドバ
イスをいただき
ました。

プロの視点(ポスター)
学を見やすくするために
反文寸の色する
カラフルはだめ
フォーマットはなれて見る

II 授業の実際 (5) 研修方法

子どもの姿で語る集団をめざす！
子ども一人ひとりの姿を見取る方法で



児童実態を把握

変容

表情

つぶやき

発言

どんな手立てが有効か

II 授業の実際 (6) 児童生徒の変容

課題解決力(まとめ・表現)

【第3学年『神石高原町のこんにやくを広めよう』】

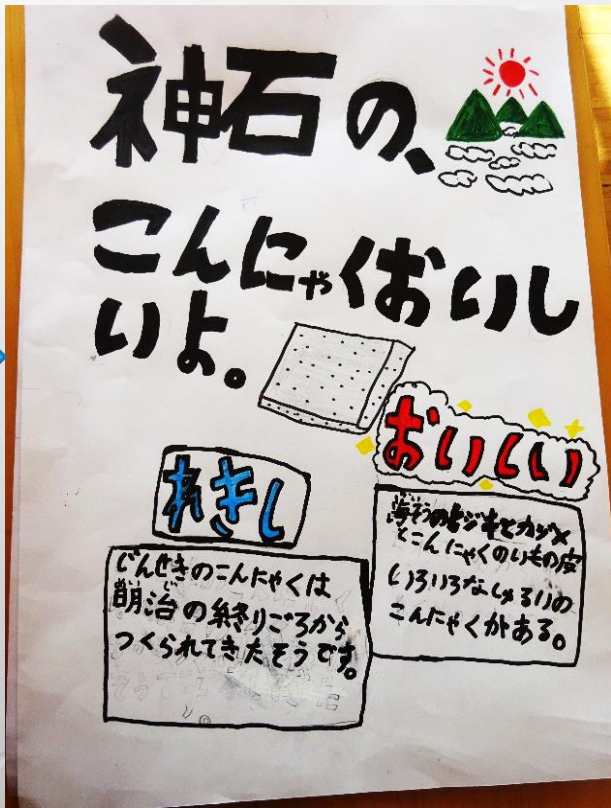
変容前



その道のプロにアドバイスをもらう



変容後



II 授業の実際 (6) 児童生徒の変容

振り返り力

町のすてきつたえたい

10月12日

③ レベルA

くんが「まどゆめのせんをマイネーム
で「きれいになぞ」てくれたか⑥が
たなと⑦いきました。

③

くんが中すえさんのことをきれ
いに書いてくれたか⑥が⑦はうれしくな
た。

友だちときょうかできたんで



ルーブリックに
慣れてくるとなぜ
レベルAにしたの
かを書けるようにな
った。

③ レベルA

ちゃんのことを考え「ま
どゆめのせんをきれいに
書いたからレベルA
にした。

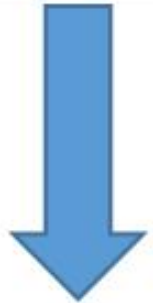
友だちときょうかできたんで

II 授業の実際 (6) 児童生徒の変容

振り返り力

【第5学年 『誰もがくらしやすい町』】

ループリック使用前



ループリック使用后

① いろんな事や、イベントなどをしていて、とても楽しそうでした。



① 今日のループリックは、Bでした。
理由は、意けんなど言えたり、していたと思ったからです。(1年生の戸で「おて玉をかりてやってみよう。')
次は、3人で、しっかり考えてたくさん、いけんを、出しあいたいのです。

II 授業の実際

(6) 児童生徒の変容

振り返り力

【中学校】

(授業前)

・ 僕は神石高原町に将来残りたいとは思わない。なぜなら、交通の便が悪かったり、娯楽施設がなかったりするからだ。また、就ける職業も限られていて、都会に行った方が選択肢が広がると思うから。



(授業後)

・ この一年間授業をしてきて、神石高原町には色々な特色があるということを学んだ。また、職業も色々とあることが分かって、とりあえず自分がしたいことをして行って、将来的に老後に町に帰ってくることも考えるようになった。

III 成果と課題

(1) 結果

評価方法

児童生徒アンケート
教職員アンケート

評価指標

三つの資質・能力に係るアンケート項目
肯定的評価80%以上

III 成果と課題

(1) 結果

児童生徒アンケート

肯定的評価が80%以上

	来見小	三和小	三和中
身の回りのものやできごとから自分が調べてみたいことをみつけています	89.4	85.6	83.1
自分の考えを積極的に伝えています	84.8	84.1	80.8
友達と話し合う時、お互いが納得のいく考えをつくろうとしています	95.4	84.1	92.3
学習の振り返りをするときには、「どこまで分かったか。」 「学習方法でうまくいったことや失敗したことなどの理由」 を考えています。	80.3	83.1	87.1
学習の振り返りをするときには、「もっと考えてみたいこと」 「もっと調べてみたいこと」「もっと工夫してみたいこと」 などを考えています。	89.2	78.5	83.4

III 成果と課題

(1) 結果

教職員アンケート

肯定的評価が80%以上

	来見小	三和小	三和中
児童生徒が、考えたり考案したりしたことについて、実際に取り組むような指導を工夫した。	100	100	100
児童生徒が、実際にものを使ってやってみたり、地域や自然の中で学習したりするなどの体験活動を取り入れた。	100	100	88.9
「総合的な学習の時間」では、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導を工夫した。	100	100	88.9
児童生徒が解決したい「答えのない問い」に自分たちなりに考えて表現させた。	100	100	100
児童生徒が情報収集の方法を選択し、PCや本に加えてインタビューやフィールドワーク等様々な情報収集活動を行うよう指導した。	80	87.5	77.8

III 成果と課題

(2) 成果

- ・系統的に育成を目指す資質・能力を設定
- ・つけたい力, そうなりたい姿の系統表の作成と共有
- ・PBL(プロジェクト型学習)の考え方を参考に, 生活科及び総合的な学習の時間の単元を開発
- ・育成を目指す資質・能力を評価するための単元におけるルーブリック作成に挑戦
- ・授業の工夫
- ・生活科や総合的な学習の時間の校内授業研究会のもちかたの工夫・交流

III 成果と課題

(3) 課題

- ・単元の導入の仕方
- ・ルーブリックの作成や視点
- ・コロナ禍での体験活動等の実体験における豊かな学びをどうするか



引き続き がんばります！